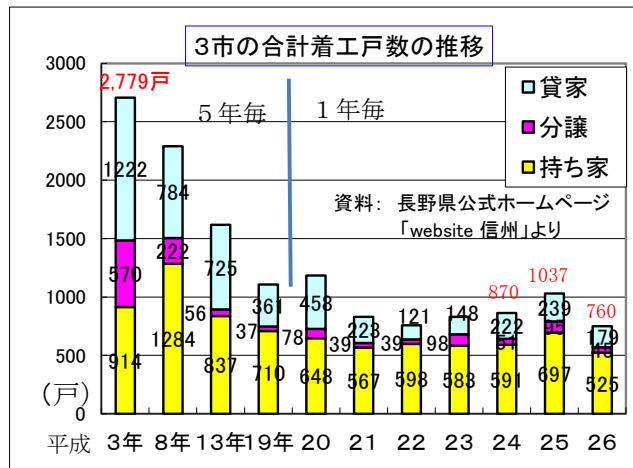


# 岡谷市・諏訪市・茅野市の新築着工住宅戸数の推移

27. 7. 2 矢島義恭

## 1 バブル崩壊後に新築着工住宅戸数が激減した、近年は横ばいで推移している

- ✓ バブルピーク時の平成3年には、着工戸数が2,779戸あり現在の約3倍強もあった。
- ✓ 少子化の進行は親の世帯数の減少でもあるが、これが主たる住宅新築者層であり着工数が減少した。背景には親の世代人口の減少や、未婚率の高まりによる晩婚化や非婚化がある。
- ✓ 20年リーマンショック後の近年は、800戸前後の戸数で横ばいで推移している。



## 2 人口が減少傾向の岡谷市で戸数が少なく、増加傾向の茅野市では戸数が多い

- ✓ 人口規模に関係なく、人口の増減が着工戸数の多少と連動している。
- ✓ 住宅値価格や住宅用地取得の便などの条件で、着工者が移住する傾向は続いている。

